ストーリーブックの活用と今後の予定

資料1

今後の予定

R6	計画づくり	知床にある地域資源の価値を洗い出して整理 地域資源の価値に紐づくストーリーを言語化（明文化） 誰もが知床の価値・ストーリーをわかるようになる（ストーリーブック）
R7	共有理解	地域のみんなに知ってもらう（インナーブランディング） みんなが語れるようになる （町報誌と連動してストーリーブック配布・オンライン公開）
R8	利活用	来訪者と地域で共有し、楽しんでもらうことで地域との結びつきを深めてもらう（施策への反映、展示改修など）

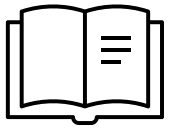
◆ 各事業者や地域団体の自主的な取組みや活用への伴走（提案制度の活用など）

利活用

アウトプット

ストーリーブック

誰もがわかるように
広く浅く価値をまとめる
（背景はしっかりと）



展開

ストーリーブックを活用したインナーブランディング（パンフレット、説明会、シンポジウムなど）

発展

地域向け、学校・教育向け、ガイド向けテキスト
（ストーリーブックを掘り下げた分冊作成など）

	短期（～1年）	中期（～5年）	長期（～10年）
環境省	**ストーリーブック(IP全体計画)作成** **知床エコツーリズム戦略への反映** 環境省補助金等を活用した各種事業の実施 ・国立公園冊子作製 （地元小学生への無料配布・道内図書館へ寄贈） ・国立公園YouTube動画作成	**ストーリーブックの配布** **オンライン公開** **地域への理解促進の機会設定** 国立公園・世界自然遺産地域の各種計画への反映 羅臼VC映像更新 ストーリーブック改訂や分冊作成	**インタープリター育成支援**
各事業者	観光庁補助金※を活用した各種事業の実施	事業者からIP全体計画に沿った事業の取組みが始まる ・地域の人材育成のテキスト ・新たな観光コンテンツ造成（提案制度の活用） ・地域の魅力の情報発信力の強化　など	事業者にも価値の共有化がはかられ協力や連携が進む

※知床IPは観光庁事業と一緒に取り組んでおり、その成果（知床の価値やストーリー）に沿った事業であれば、観光庁補助金事業に採択するときの判断基準になる。

令和7年度後期からの詳細

・ポッドキャスト番組での知床国立公園紹介

『自然』の魅力をさまざまな切り口から発信する番組があります。
環境省職員がストーリーブックを活用して紹介役として出演。
【番組名】Sunny Spot by Nature Service Radio By Nature Service

番組　公開QRコード

・知床羅臼ビジターセンターの映像改修着手

知床・羅臼の魅力を伝える映像ストーリーを作成
知床の自然やアクテビティを知っていただく主に団体向けの映像
【（仮）流氷からはじまる、羅臼ー海・川・森・人～循環する知床】と、
自然と人々の暮らし・文化を掘り下げた、再訪者や地域住民向け
【（仮）知床に生きること・暮らすことー“羅臼の時間”】の映像の２本構成。

令和7年度後期からの詳細

・完成したストーリーブックを町報誌配布網を活用して羅臼及び斜里町民に7月上旬までに配布完了。
地域関係者や町内会員以外にもVC等を活用して配布
（チラシやSNSで告知）

・オンラインでも公開
（知床データセンター）

知床データセンター
公開QRコード

令和7年度後期からの詳細

・7/10・11にストーリーブックの紹介も含めて
ワークショップ開催。
ワークショップ未参加者が半数程で
今後の拡散への一歩目となる。
また、参加者から自町内会での
追加開催依頼があり開催調整中。

・１１月下旬頃にワークショップ開催調整中
共有理解の促進と今後の利活用検討の
場として